



南房総のハズシ

「学校安全」について考える ～ 9月1日は『防災の日』～

1 千葉県学校安全のテーマ

子どもたちの「かけがえのない命」を守るために

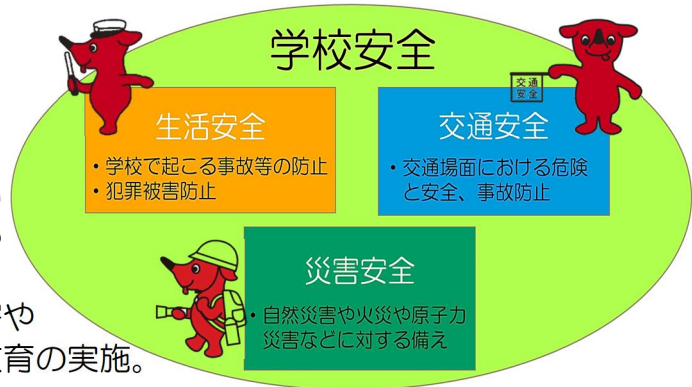
「安全・安心な環境づくり」と

「自ら考え、主体的に判断・行動できる子どもの育成」

2 学校安全の内容は3つ

学校安全は、「生活安全」「交通安全」「災害安全(防災)」の3つの内容から成り立っています。

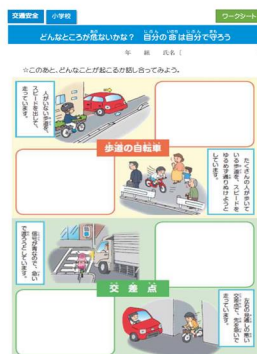
- ① 生活安全…学校生活や日常生活での事故防止。
- ② 交通安全…信号機のない交差点や交通量が多い道路など、様々な交通場面における登下校中の事故防止。
- ③ 災害安全(防災)…地震、津波などの自然災害や火災等の被害防止、防災教育の実施。



また、近年ではこれらに加え、SNS等の普及によるネット上のトラブルなど、児童生徒等を取り巻く環境の変化や学校を標的とした新たな危機事象も懸念されています。安全教育に取り組む際は、主に以上の3つの内容について、子どもたちに伝えていく必要があります。

3 「学校安全の手引き」の活用を！

千葉県 学校安全の手引



項目	内容
1. 生活安全	校内での事故防止、犯罪被害防止
2. 交通安全	登下校中の事故防止、交通安全教育
3. 災害安全(防災)	地震、津波などの自然災害や火災等の被害防止、防災教育の実施

※各校に配付済

<ワークシート>

<エピペン資料>

<学校安全計画例>

本手引きは、安全教育の取組等をどのようにすすめていくのか具体的に示しており、各資料や授業で活用できるワークシートも掲載しています。また、危機管理マニュアル例についても各種状況に応じた内容を掲載しています。各資料のWordやExcelデータは、ホームページからダウンロードすることができます。校内の危機管理マニュアルの見直しや改善を図るためにも、ぜひ御活用ください。



4 「学校における地震防災マニュアル」の活用を！

内閣府の防災情報のページによると、自然災害の想定として、地震災害では、**マグニチュード7クラスの地震**が、千葉県を含む南関東地域で発生する確率は、**今後30年以内に70%**とされています。

また、風水害（台風、集中豪雨、竜巻）では、地球温暖化の影響で、**今後ますます危険な気象状況が続く**と言われています。そのため、災害時における緊急対応を明確にするために「学校における地震防災マニュアル」の活用や地域の特徴を更に知るために「ちば情報マップ」や「地域安全マップ」の活用をしましょう。



ちば情報マップ

「ちば情報マップ」では、地図で防災情報を確認できます。

- ※**地域の特徴・実状を知るには、地域安全マップ作りが効果的！！**
- ※**時間に余裕がないのであれば…既存のマップの活用をしてみる。**

- (例)・前年度までに作成されているマップに、新たな情報を追加する。
- ・地域のハザードマップを重ねる。
 - 自然災害が発生したときに、学校や家は安全なのか？
 - 通学路に、危険なところはないか？

迅速な避難行動をとれるようにしよう！



5 防災教育の推進を！ ～自助と共助～

防災教育のねらいは、『自分と自分の大切な人の命を助けるための教育を推進する』とされており、特に、自分と自分の大切な人の命を守る「**自助**」と「**共助**」に重点を置いた**防災教育の推進**をお願いします。また、防災意識高揚のための啓発動画も千葉県ホームページにて公開されていますので、御活用ください。

<防災意識高揚のための啓発動画>

(1) 安全に登下校するために

ここでは、登下校中に地震が発生した場合の危険箇所（ブロック塀等）の紹介や、児童が安全を確保するための行動を解説します。

[「安全に登下校するために」動画のページ](#)



自助 自分で自分を助ける

共助 共に助け合う意識を育てる

公助 ※行政による救助・支援

※職員がいざというときに慌てないために…

いざというときのためにやるべきことを事前にしっかりと把握し、その対策を検討し、全職員で共通理解しておくことが重要

《被害を最小限にするための主な留意点》

1. 安否確認
2. 児童生徒の引き渡しと待機
3. 災害発生後における教育活動の継続と再開に向けた取組
4. 避難所としての学校の対応
5. 事後の調査・検証・報告・再発防止

危機管理の基本姿勢

- さ** さいあく（最悪）を想定し
- し** しんちょう（慎重）に
- す** すばや（素早）く
- せ** せいい（誠意）をもって
- そ** そしき（組織）で対応

～子どもたちが安心・安全な学校生活を送ることができるようにしていきましょう！！～